



公益社団法人
日本理学療法士協会
Japanese Physical Therapy Association

JPTA

NEWS

2018

特集

スポーツと理学療法士

準備は出来てる? 2020年東京オリンピック・パラリンピック

APRIL

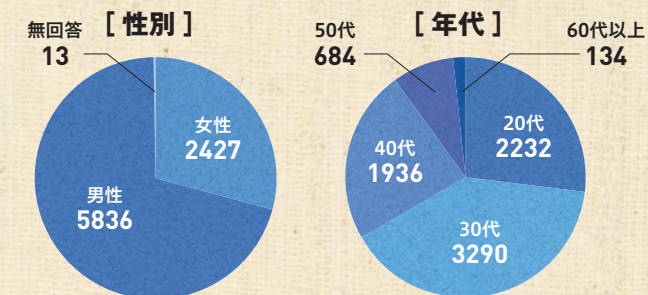
vol 312

4

会員の

91.4%が関わりたい!!

東京オリンピック・パラリンピック



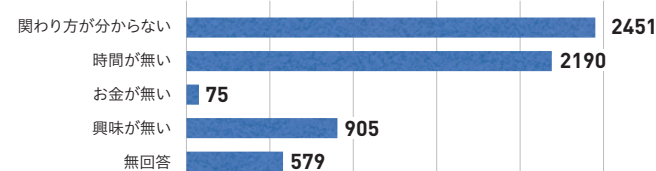
調査：JPTA NEWS 312(4月号)読者アンケート*

実施期間：2018年2月16日～25日 回答者数：8276名

*マイページに登録されている会員の皆さまのメールアドレス宛にご協力をお願いをお送りいたします。メールが届いていない方は、マイページ上に有効なアドレスが登録されているかご確認ください。

リニューアルした最初のテーマは「スポーツ」。2020年東京大会が近づく中、今回はスポーツに対して会員がどの程度興味・関心があるのか、アンケート調査を行いました。

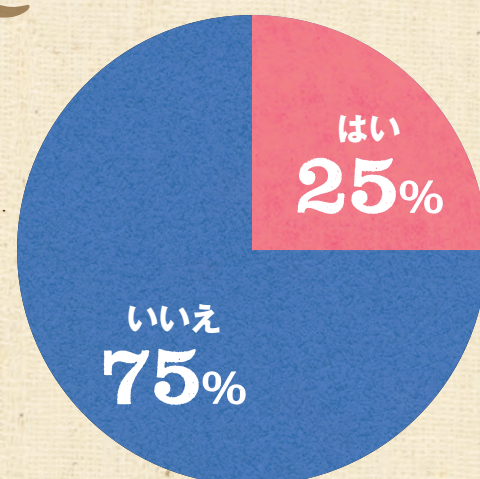
「いいえ」とお答えいただいた方に伺います。それはなぜですか？



オリンピック・パラリンピックに興味はあっても、実際にスポーツに関わっている人はわずか。理由はそもそも「関わり方が分からない」し、「時間が無い」のも悩ましい。関わっている人はどうやっているのだろうか？

「スポーツ・障がい者スポーツ」について伺います。

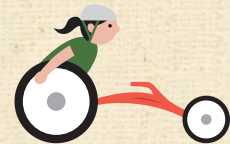
Q3 あなたは日常的に「スポーツ・障がい者スポーツ」に関わっていますか？



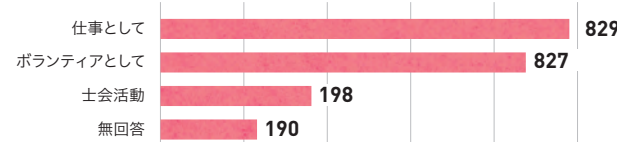
興味はあるが、日々の仕事や家事などで手いっぱい。
(埼玉県 20代 女性)

士会事業に参加している。
(東京都 20代 女性)

どこでどんな活動が行われているのか知らない。
(北海道 20代 男性)



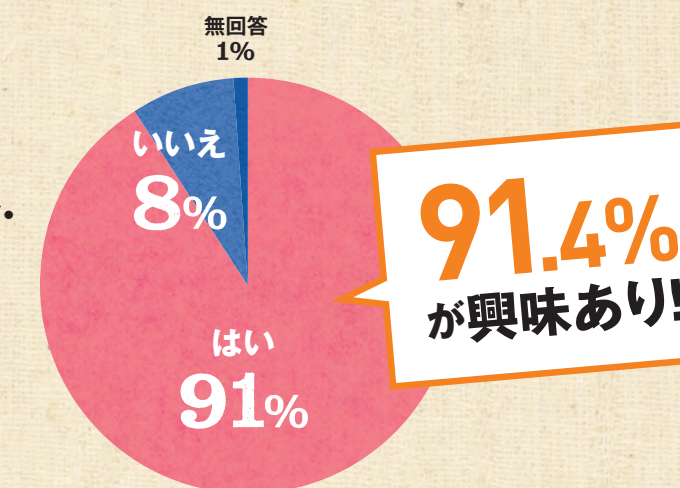
「はい」とお答えいただいた方に伺います。それはどのような関わり方ですか？



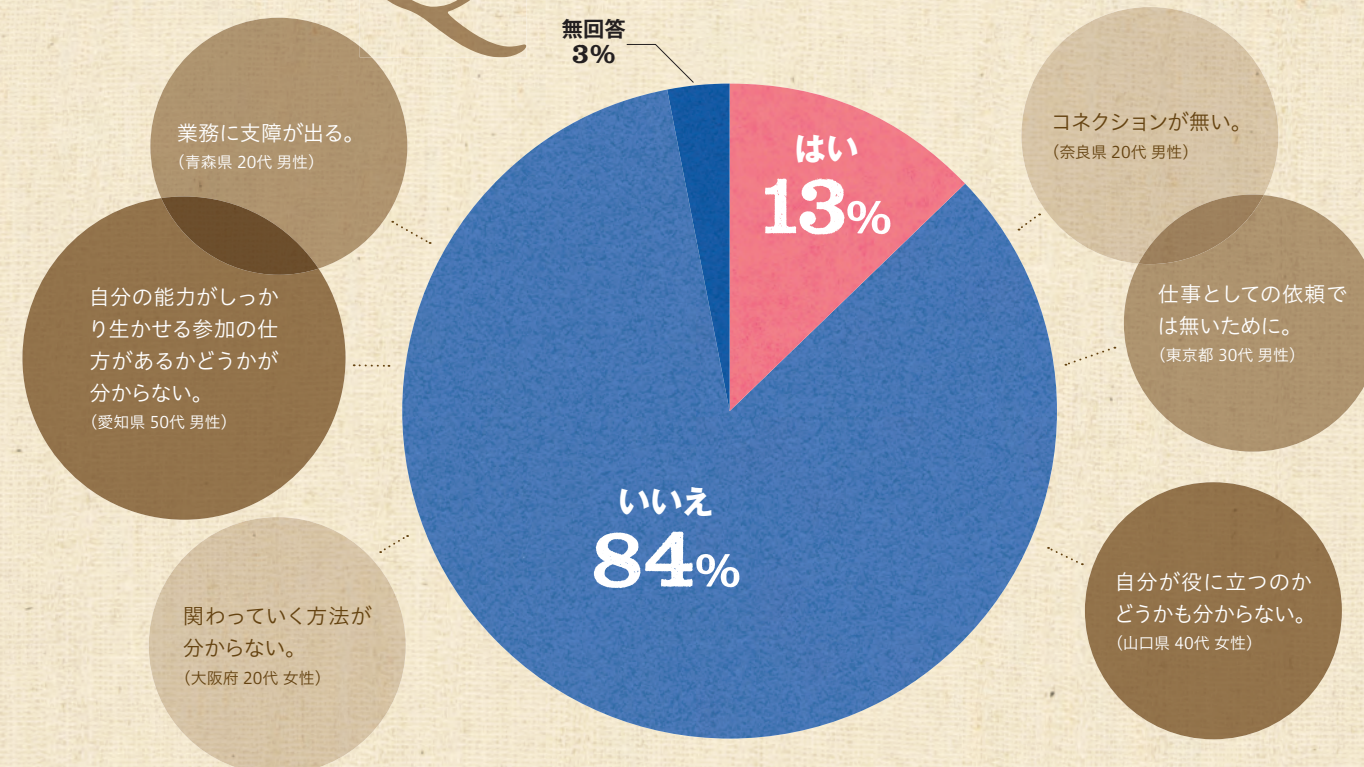
スポーツに関わっている人は大半が「仕事」か「ボランティア」。ボランティアは職場の理解がポイントか。そもそも情報はどこで得ているのだろうか？次ページでは実際に関わっている人にお話を伺ってみた。

2020年に開催される「東京オリンピック・パラリンピック」について伺います。

Q1 あなたは「東京オリンピック・パラリンピック」に興味がありますか？



Q2 あなたは、「東京オリンピック・パラリンピック」に参加する予定がありますか？ ※関係者・一般等、立場は問いません。



ファーストステップ！

士会活動

私はココから始めました

読者アンケートにて「日常的に『スポーツ・障がい者スポーツ』に関わっている」と答えた方は、いったいどのような方法で関わっているのでしょうか。実際にご活躍中の会員の皆さまにインタビューし、関わるようになったきっかけや継続のコツなどを伺いました。

山梨
Topic 1

経験年数：11年目

ディサービスいるは

森田 伸哉さん

Shinya Morita

▼きっかけは養成校時代

スポーツ現場で活動するきっかけとなったのは、私がまだ養成校時代にスポーツ理学療法の講義にいらしていた先生に「スポーツに関わりたい」と相談したところ、山梨県士会ではスポーツ大会や様々なチームに定期的に関わっていることを教えていただきました。また、現場で活動するために月2回の勉強会を継続して行っていて「そこに参加してみたらどうか」とお誘いを受けたことから始まっています。現在は山梨県士会社会局スポーツ理学療法部に所属し、これまでに中学サッカー、高校ラグビー、大学女子サッカーなどへ帯同して外傷の対応やコンディショニングを行ってきました。

▼仕事との両立がカギ

働き始めた当初、整形外科クリニックに勤務していました。日常業務も忙しかったうえ、月4〜6回以上の勉強会とチーム帯同はかなり大変でしたが、勉強会や現場での対応が日常業務に生きることもありましたし、施設外の先輩方に日常の疑問を質問し解決できたことも多くあります。私の場合は、職場でもスポーツ現場でも「できるよ」という思いと、「できるようになった」という喜びがモチベーションになって、仕事とスポーツ活動をうまくリンクし両立することができたと思います。



▲大学女子サッカー監督との話し合い、熱が入ります。

東京
Topic 2

経験年数：9年目

三鷹ロイヤルの丘

中澤 朋子さん

Tomoko Nakazawa

▼とにかく飛び込んでみる！

スポーツ領域での活動に興味はあったのですが、何をどうしたら良いのか、情報の得方も分かりませんでした。そんな中、たまたま都士会のホームページで見つけた昨年9月に開催された「スポーツ現場で安心安全に活動する技能があるかを確認するテスト」で繋がりができて、2017年度の地域のフェンシング大会にはサポートスタッフとして、障がい者スポーツ大会にはコンディショニングスタッフとして関わる事ができました。2020年までにはもっとたくさん勉強会や研修会に参加して、現場でしっかり動けるスタッフになりたいです。

▼一番は、周囲の理解とサポート

仕事、プライベートに士会活動も…となると両立が厳しいと思われるかもしれませんが。私もそうですが、確かに土日や平日夜の研修会などに、業務後に集まる方が多いようです。ただ、大会サポートに関しては、も、土日だけではなく平日開催の試合を選んで参加している方もいらつやいますね。熱い方が多くていつも影響を受けています。中には子育て中のママさん、パパさんもうらつやいます。どんな時も、パートナーや職場に協力していただける関係づくりが大切なんだと思います。



◀忙しくても笑顔が素敵です。

東京

Topic 3



経験年数：8年目

あいフィットネスサロンさくら

鈴木 奨さん

Sho Suzuki

▼スポーツ領域に関わるようになったきっかけ

私は都士会西多摩・南多摩ブロックスポーツ担当として、研修会の企画・運営などをしております。そもそものきっかけは友人が車いすバスケットボール選手になったことでしたが、当初は中級障がい者スポーツ指導員の資格は持っていたものの、何をすれば良いのか分からず、とにかく地域のスポーツ大会などに参加していました。その中に偶然、多摩市スポーツ推進委員の方がいらして声をかけてくださり、今年から多摩市のスポーツ振興課の非常勤特別職であるスポーツ推進委員として、地域住民へのスポーツ指導などをさせていただいています。

▼地域で広がる理学療法士活躍の場

スポーツは老若男女、健常者や障がい者などの垣根を越えた共通文化だと思います。ですので理学療法士も現場に出るのであれば、スポーツと一緒に楽しむ気持ちが大切です。



スポーツ大会の参加であれば安全に行えるよう障害予防の助言などを行えるでしょうし、クラブチームスタッフであれば所属する選手と深く関わり信頼を得ることが大切です。スポーツの領域で自分の経験を積んでいくためにも、理学療法士としてできる事をより広い視野で考えながら関わることも必要です。

東京

Topic 4



経験年数：6年目

杏林大学医学部付属病院

水石 裕さん

Yutaka Mizuishi

▼東京都理学療法士協会のスポーツ事業について

私は都士会のスポーツ局国際競技大会・スポーツ理学療法推進部に所属してスポーツ理学療法ビギナーの都士会員向けに研修会を開催したり、スポーツ大会の会場サポートを企画したりしています。また、現場で活動する前に「スポーツ現場で安心安全に活動するための技能があるかを確認するテスト」も実施していてこれは他の士会でスポーツ事業を担当されている方々からもお問合せをいただいたり、事業内容をこちらからご紹介したりもしています。

▼行動力と、周囲への感謝

私が尊敬する先生の言葉に、「自分の足で現場に行き、自分の目で見て、全身で感じる事がチャンスをつかむ大きな秘訣!」というものがあります。私も、都士会のスポーツの理学療法委員会(現スポーツ局)メンバーに誘っていただいたのは、振り返れば学生の頃から仲間とスポーツの勉強会を開催していたからかなと思いますし、行動を起こすことは本当に大切だなと思います。もちろん普段の仕事との両立は大変ですが、職場への感謝を忘れずに、今後も取り組んでいきたいと思っています。

▼子どもたちへのサポートの様子



島根

Topic 5



経験年数：9年目

えだクリニック整形外科

蔦川 和希さん

Kazuki Tsutagawa

▼島根県士会のスポーツ医・科学サポート事業

島根県士会はスポーツ医・科学サポート事業の中で、県内の中学校・高等学校に理学療法士を派遣しています。私も普段は整形外科クリニックに勤めながら、県立横田高等学校ホッケー部のメディカルサポート・大会への帯同を行っています。また島根リハビリテーション学院、島根県アスレティックトレーナー協議会、奥出雲町の3者でスポーツメデイカル協定を結び、奥出雲町のスポーツの発展に関する横断的な事業を行っています。大きな事業として、東京オリンピックホッケー競技の事前キャンプ地誘致活動も行っています。

▼スポーツ事業を継続させるために

少子高齢化が進む中、島根県、特に奥出雲町は山間部でもありその影響が大きく、運動をしない子どもが増えています。奥出雲町にはホッケーという全国的にも強い競技がありますが、このままでは競技人口も少なくなってしまう。ただ、それを打開する前述のような取り組みを継続するにはマンパワーが必要です。協定に養成校も加わっていただいているのには、資格取得前の学生にも関わってもらうことで、新しく理学療法士になる方々がスポーツ活動に参加しやすいかなれば、という意図もあります。今後は他都道府県との交流も深めて、活動をより発展させていきたいと思っています。



ホームページもご覧下さい！▶

JPTA NEWSは会員の皆さんと作る冊子です。
ご意見・ご感想・ご質問等お寄せください。

Q 協会はどんなことを するのですか？

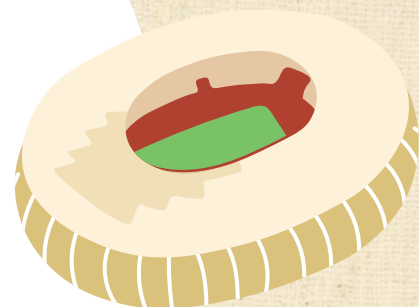
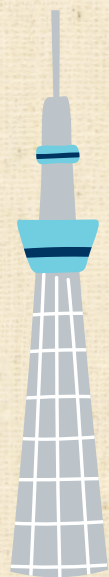
2020年東京大会を控え、協会では「スポーツ支援推進
執行委員会」を設け様々な事業を行っています。また、
いくつかの小委員会もあります。例えば、「スポーツ理学療法育
成検討小委員会」では、スポーツ理学療法を学ぶ機会を作り、
地域での活動に参加できる人材の育成が進められています。
また「2020スポーツ理学療法レガシー検討小委員会」では、
オリンピック・パラリンピック終了後も、「理学療法士が地域の中
で様々なスポーツイベントに関わっていけるようなシステム*」の構
築を検討しています。またこういった取り組みを進めるにあたり、
理学療法士の活動の範疇などについても、制度面を含め検討
していかなければならないと考えています。



Q 協会の今後の取り組みについて 教えてください。

システム*構築のためには、今から取り組みを進めること
が重要です。具体的には、全国の士会と連携を強めな
がら、すでに各地で始まっているプレ大会、事前キャンプへの
サポートを進めていきます。そこで、各士会とのネットワーク作
りのためにスポーツ理学療法運営担当者やスポーツ理学療法
推進協力者をご推薦いただいています。同時に、スポーツ
理学療法に関する相談窓口の開設および、研修会のサポート
や講師派遣を行う体制作りを検討しています。これから2020
年東京大会への参加をご検討中の方は、ご所属士会のホーム
ページなどへアクセスしてください。可能性が広がると思います。

JPTA NEWSは会員の皆さんと作る冊子です。
（意見・感想・質問等お寄せください。）



理学療法士に わたしたち

東京オリンピック・パラリンピック

前コーナー「ファーストステップ！私はコ
コから始めました」では、各都道府県理学
療法士会（以下、士会）のスポーツに関連
する活動へ積極的にご参加いただしてい
る会員の皆さまにお話を伺いました。皆
さまもぜひ、ご所属士会のホームページ
などをチェックしてください。

本コーナーでは、日本理学療法士協会（以
下、協会）のスポーツ
支援推進執行委員
会 委員長 梶村政司
氏へ、協会としては
どのような取り組み
を行っているのか、
お話を伺います。



スポーツ支援推進執行委員会
委員長

梶村 政司氏
Masaki Kajimura

Q スポーツ領域において 理学療法士ができることって なんですか？

理学療法士の得意分野は身体の動きを見ることで
す。スポーツの現場で活動をしていると、痛みを
取ることはもちろん、それ以上に痛みの原因を解決する
ことがとても重要だと感じています。また障がい者スポー
ツについては、かつてはリハビリテーションや福祉の一環
という側面で捉えられてきましたが、今では自らを表現し
QOLを高め、社会とつながるツールとして欠かせないも
のになっています。障がいの有無に関わらず、多くの方が
スポーツに関わる機会を作るために働きかけていきます。

Q 東京オリンピック・パラリンピックは もう始まっている？

大会期間中は、世界中からたくさんの選手や関係者、また
観客が訪れます。よって私たちには、その方々にメディカル
サービスを提供することが求められます。2017年10月に、大会組織
委員会の医療サービス担当者と協会の担当者が大会期間中の人材
提供についての打ち合わせを行いました。また2018年から、全国各地
ですでにプレ大会や事前キャンプが開催されているため、協会とし
ては大会期間中のみならず、これらのサポートもしていきたいと思っ
ています。そのためには全国を通じて多くの会員から協力を得るこ
とが必要とされるため、人材養成事業として昨年下半年より、スポー
ツ理学療法研修会（総論）をスタートしました。また各士会でも、今
後、支援する競技種目やボランティア等の各論研修を積み重ねて
いただくことは重要だと思います。平昌冬季大会が終わったばかり
ですが、すでに2020年東京大会は始まっていると言えるでしょう。



る姿は、障がい者とはより、健常者にも大きな感動と勇気を与えるでしょう。ご覧になった方が自分も何か目標に向かって頑張ろうという気持ちになっただけだと良いですね。

半田…私たち理学療法士は身体に障がいのある方を相手に仕事をしていますが、彼らの姿を見ると、やはり私たちも絶対に諦めてはいけないのだと奮い立たされます。障がいがある中で頑張っている方を支える側として、彼らをどう見るのかとても重要です。ですから、本会の約11万人の会員たちには、できる限り見てほしいと思っています。またもう一点は、パラリンピックには障がいのある一般の方も大勢来場されるでしょう。そこで、彼らを支えるボランティア

パラリンピックが成功して初めて、 2020年東京大会は成功する

2018年平昌冬季オリンピック・パラリンピックも終了し、いよいよ次は2020年東京夏季大会がやってきます。今号では鈴木俊一・オリンピック・パラリンピック担当大臣に、理学療法士の役割にも触れながら、東京大会の位置付けや方向性について伺いました。



アとしてぜひ私たちを使っていたきたいと思っています。障がいがあってもそれに打ち勝って、そして障がい者も健常者も一緒に頑張って働いて社会参加する日本にしたいと思っています。

鈴木…そうですね。スポーツ分野における理学療法士の皆さんの力は大きいと思います。選手が活躍するには競技力を高める必要がありますが、そこでの理学療法士の活躍は大変評価されています。2020年大会でも、選手村に総合診療所を設置します。その中で医師や看護師、薬剤師、歯科医師などとともに理学療法士も含めて、どう配置するか組織委員会で検討していただいているところです。また競技力の向上だけでなくコンディショニング作りや怪我をした方のリハビリテーションなども、理学療法士の存在無くしてはできないと思いますね。

衆議院議員
東京オリンピック競技大会・
東京パラリンピック競技大会担当大臣
鈴木 俊一氏

公益社団法人
日本理学療法士協会 会長
半田 一登

すぎしゅんいち ● 1990年 衆議院議員初当選 ※以降衆議院議員9期当選
2001年 衆議院厚生労働委員長
2017年 東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣(第4次安倍内閣)
2018年 リハビリテーションを考える議員連盟 会長

半田…早速ですが、オリンピック・パラリンピック担当大臣として、2020年東京大会をどのように捉えていらっしゃるでしょうか。

鈴木…大臣になってちょうど半年がたちます。1964年の東京オリンピックの時、私は小学校5年生でしたが、開会式に行くと大変な感動を覚えました。2020年大会もぜひ成功させて、多くの国民の皆さんや海外からのお客様に、スポーツの素晴らしさや感動を感じていただける大会にしたいと思っています。

実は、同一都市で夏のオリンピックを2度開催するのは東京が初めてなんです。ですから、パラリンピックが成功して初めてトータルとしての東京大会が成功したと言えると思うので、パラリンピックや障がい者スポーツに今まで以上に力を入れなければと考えています。障がいのある方がそれに打ち勝って素晴らしいパフォーマンスをされる



2020年のレガシーとして、 “共生社会”という 文化を残したい

半田…ありがとうございます。しっかりとアスリートを支えていく会員を育てていきたいと思えます。以前は、障がいのある方々がスポーツを手段として社会参加していく、ということとはよくありましたが、今はどうしても診療報酬が急性期に厚く盛られ、本来であれば長い時間がかかる障がい者のリハビリテーションの過程が途中で切られてしまっています。そのため、医療施設で障がい者のスポーツが取り入れられなくなっています。ぜひ2020年のパラリンピックを機にもう一度、障がい者スポーツに勢いをつけていきたいですね。

鈴木…おっしゃるとおりです。実はスポーツ基本法の中では、スポーツをする人、見る人、支える人、といったスポーツ参画人口を増やそうということになっていきます。障がい者スポーツの裾野を広げる意味で、支える人を増やし、支える体制を整備することは不可欠ですね。特にパラリンピックや障がい者スポーツの場合、もともとこの障がいに対する管理や障がいに応じたトレーニング計画が重要で、そういう点で理学療法士のアドバイスは重要だと思っています。私たちがパラリンピックや障がい者スポーツを重視しているのは、2020年のレガシーの一つとして、この国に共生社会

という文化を残していきたいという目標があるからです。

1964年の東京大会のレガシーは、文化的な面では、ゴミの落ちていないきれいな街並みが日本の国に定着したことだと言われています。例えば、鼻をかんだゴミをポイ捨て捨てたりしないですね。ゴミは持つて帰るかどこかのゴミ箱へ捨てるという文化が残ったわけです。今度の2020年は、心のバリアフリー、つまり、車いすの方や視覚障がい者、聴覚障がい者など様々な障がいのある方が困っていたら当たり前のように支える、そういう今よりも一段高いレベルの共生社会をこの国の文化として位置付けたいと思う

ています。さらに、今日は超高齢社会ですから、障がい者に限らず健康者も、これから様々な要因で障がいを抱える可能性もあるわけです。ですから、共生社会という文化を作り、定着させる絶好の機会としていきたいです。

半田…厚生労働の行政に明るい鈴木大臣とお話して、思い出しましたが、私も25年前に「心のバリアフリー」という言

だという心意気を持ってもらいたいと思えますし、日本の超高齢社会を少しでも活力のあるものにできたらと思います。さらに、これからはアジア諸国もどんどん高齢化しますので、日本で育んだ共生社会がアジアに広まっていけばそれは素晴らしいことです。

鈴木…2020年は当面の目標ですが、その後もいろいろな分野で頑張りは続いていきます。ですから、障がいのある方を支えるプロとして、理学療法士の皆さんには2020年以降も共生社会を念頭において仕事に邁進していただきたいですね。

半田…最後になりますが、鈴木大臣にはこの度、リハビリテーションを考える議員連盟（以下、リハビリ議連）の会長に就任していただきました。本当にありがとうございます。共生社会を作るためにどうあるべきか



葉を使った当時は、ほとんど理解されませんでした。ですが最近厚生労働省も使っています。2025年が地域包括ケアシステム構築の目途とされている中、2020年のレガシーとしてモノではなく文化を重視して共生社会が根付けば、良い流れができると思います。本会としても2020年東京大会を通して、若い会員たちただ機能訓練をするのではなく、そういう共生社会を目指す

など、前向きなことを語り合える場にしていただければと思っています。本当にご多忙の中で、心から感謝しております。

鈴木…とてもありません。リハビリ議連は本来に限られた人数でスタートしましたが、今は入会希望者も増え、リハビリテーションに関わりのあるいろいろな資格の方々も参画され、規模が大きくなってきました。やはりそれは、リハビリテーションが身近で、かつ、なくてはならないものだ、皆さんが感じているからだと思えます。リハビリテーションの大切さ、その中核に理学療法士の重要性は多くの人が認めていることですから、ぜひリハビリ議連を通じて、本来の意味での国民の幸せにつながる体制を作りたいと思います。

半田…ありがとうございます。ぜひまたよろしく願います。



コンプライアンス

JPTA NEWSが今号からリニューアルすることになり、「法律」シリーズもリニューアルします。これまで「法律」という堅苦しい内容を、身近な理学療法を例にかみ砕いて解説してきました。これまで扱ったテーマでもさらに分かりやすく解説していきます。このシリーズをきっかけにググっていただけのようなく、そんなシリーズを目指します。

「コンプライアンス」、よく耳にする言葉だと思えます。法令遵守(ほうれいじゅんしゅ)と訳されることが一般的です。順守と書く場合もあります。日本語で聞くと法律を守ればよいのかと思うかもしれませんが、確かに、法律は守られなければなりません、それだけで十分か、ということになります。コンプライアンスの

考えには、勤務先の就業規則や所属する団体の規則を守ること含まれます。罰則がないからと言って守らなくてよいわけではありません。

それでは、暗黙のルール、モラルはコンプライアンスに含まれるのかという疑問が生じます。意見が分かれるところですが、暗黙のルールや慣例、モラルは、その集団に属する人々がどこまで了解しているか、当然と考えているかという点が重要になります。

コンプライアンス違反を犯すと、法律、所属団体の規則に基づく処罰・処分、社会からの批判を受けるリスクがあります。社会からの批判としては、以前はマスコミ報道や噂が多くありましたが、最近ではSNSによる批判も無視できません。

教えて! 田中まさし先生!

このコーナーでは、本会理事の田中まさしが全国を訪問し、若手会員の皆さんからいただいた様々な相談に丁寧にお答えしていきます。ご質問はJPTA NEWS 編集担当までお送りください。

田中まさし公認ゆるキャラ まーくん



田中 まさし
Masashi Tanaka

1965年10月11日 北海道札幌市生まれ
1987年 清恵会第二医療専門学校卒業後
河内総合病院・上山病院・札幌東洲会病院
1995年 北海道千歳リハビリテーション学院
(副院長、理学療法学科長)
2010年 北翔大学大学院人間福祉学研究所
人間福祉学専攻修了(修士)

会員限定コンテンツに
アクセスしよう!

<http://www.japanpt.or.jp/>

Click!



A はい。社会人となった長男と大学3年生の長女がおりまして、卒業や就職など心配が尽きることはないですね。お寄せになった不安は収入と子育てに関することと思いますが、多くの理学療法士が抱える不安事だと思いますし、私が政治活動を始めた理由でもあります。

一般的に需給バランス、雇用形態、質と希少性などが関係すると言われますが、社会保障財源におけるシェアを政治的にどの程度獲得できるのかも大きい要素です。要望せず沈黙することはシェアの減少を容認したことと同じです。生活の安定なくして質の高い理学療法の提供は継続できません。お持ちの不安を払拭できるよう、雇用拡大および収入増加に向けた声を政策として政治の場へ届けてまいります。

Q 「田中先生はお子さんいらっしゃいますか? 私は子供が2人います。今後、この仕事で大学卒業まで育てられるのか不安です。田中先生のお考えを教えてください。」



東京都 Iさん(20代・男性)
勤務先: 医療施設

理

学療法士の業務の対象は「身体に障害のある者に対し」と法律で規定され、そして、リハビリテーション医療の目的は「障がい者の社会への適合」とされています。私たち理学療法士には「身体に障害のある方々を社会適合させる」という重大な使命があるのです。そのために、障がい者スポーツは障がい者の社会参加のツールとして、そして彼らの健康維持の方法として不可欠なものなのです。



会の創造」をレガシーとすることには大賛成です。現在、政府厚生労働省では高齢者・障がい者・子供を含めた「共生社会の構築」を政策の大きな柱としています。しかし、そこに有効な手段が見つからない状況です。東京パラリンピックの開催自体を目標にするのではなく、この大会を共生社会構築への意識改革の柱に据えることが大切です。「共生社会」「インクルーシブ社会」「バリアーの無い社会」、どの用語にしても障がい者の方々と共にある社会を作る

パラリンピックという名称は、下半身まひの paraplegia の「para」とオリンピックの「リンピック」を併せた日本産の造語であり、国際身体障害者スポーツ大会の愛称として使われて、1964年の東京大会からパラリンピックとして開催されることになったものです。このように考えると2020年の東京大会に対して、日本理学療法士協会として積極的な関わりを自ら求めていかねばなりません。

鈴木オリンピック・パラリンピック担当大臣との懇談の中であったように、「共生社

ことを目指すものです。まさにリハビリテーションの神髄だと思います。1964年の東京大会は社会環境整備、2020年の東京大会は少子高齢社会における新しい文化の創造をレガシーにしなければなりません。

2020年の東京大会へ向けて着々と準備は進んでいるようです。パラリンピックにすべての会員が参加することは不可能でしょうが、身体障害の専門職としてパラリンピックを観て感じることによって、理学療法士(協会)のレガシーが見えてきます。

2020年パラリンピックと リハビリテーションの目指すもの

会長
半田 一登

▶ 年会費割引制度のご案内

本会では、下記の**年会費の割引制度**をご用意しています。
対象の方はぜひ活用ください。

シニア割引

育児休業割引

海外会員割引

詳細は、本会ホームページにてご確認ください。

〈参考URL〉
<http://www.japanpt.or.jp/members/membership/fee/discount/>



▶ クラブオフのご案内

本会では、福利厚生サービスとして、
会員優待料金で様々なサービスが利用可能な
「日本理学療法士協会 クラブオフ」を
ご用意しています。

スマートフォン
限定

ガストクーポン



〈特典内容〉 **対象商品が
特別価格に!**



異動・休会・復会・退会等の手続きについて

会員数

106,890名 平成30年3月9日現在

ご登録内容に変更がありましたときは、日本理学療法士協会(以下、本会)ホームページ内の【マイページ】へログインし、Web申請にて各種手続きをお願いいたします。トラブル防止のため、電話・メール・FAX による各種申請は受け付けておりません。

〈参考URL〉 <http://www.japanpt.or.jp/members/membership/procedure/index.html>

* Web環境が無い場合は、本会事務局(TEL:03-6804-1421)へお問合せください。



異 動

勤務先異動・改姓・自宅住所変更等により登録内容に変更が生じた場合は、マイページの「会員管理【異動申請】」よりお手続きください。

(注) ・非常勤の方も勤務先をもつ場合は勤務先会員をご選択ください。 ・海外会員と登録される場合は、会費の支払い方法について確認させていただきますので事前に本会事務局へご連絡ください。なお、帰国後は必ず都道府県士会に所属しなければなりません。 ・施設移転等による施設情報の変更は、施設代表者様のみご変更が可能です(異動申請は不要です)。代表者様は【マイページ】へログインしていただき、「会員管理」⇒「マスタ管理」⇒「施設情報メンテ」よりお手続きください。

休 会

休会を希望する場合は、マイページの「会員管理【休会申請】」よりお手続きください。休会中は下記の権利が停止となります。

- 各種研修会・学会等への会員価格での参加 (非会員価格での参加となり、会員対象の研修会への参加はできません)
- 各種学会への無料での演題登録
- 理学療法士賠償責任保険への加入(全員加入・任意加入)
- 学術論文誌「理学療法学」ならびに会報誌「JPTA NEWS」の発送
- 選挙権、被選挙権
- 福利厚生サービス「クラブオフ」の利用 など

(注) ・休会期間は4月1日から翌年3月31日までです。年度途中の休会も終期は3月31日となります。但し、1月1日～3月31日までに行われた休会申請は、終期を翌年3月31日とします。 ・債務が発生している場合は申請を受理できません。 ・休会期間満了時(3月31日)までに復会/休会継続/退会いずれかの手続きが必要となります。 ・満了時までに手続きがない場合は、規定により退会となりますのでご注意ください。退会後に再度ご入会される場合は、新人教育プログラムや生涯学習基礎プログラムは再履修となります。 ・休会継続をご希望の場合は、休会継続申請受付期間(1月1日～3月31日まで)にご申請ください。 ・休会中に改姓や連絡先の自宅住所が変更になった場合は、マイページの「会員管理【異動申請】」よりお手続きください。

復 会

休会中の会員が復会を希望する場合は、マイページの「会員管理【復会申請】」よりお手続きください。 (注) 当年度会費(1月1日～3月31日の間は次年度会費)納入後の承認となります。

退 会

本会および都道府県士会を退会する場合は、マイページの「会員管理【退会申請】」よりお手続きください。会員証カードは、速やかに本会へ返納いただきますようお願いいたします。
【会員証カード返納先】〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-8-5 公益社団法人 日本理学療法士協会事務局 総務課 会員管理 宛

(注) 退会日は退会申請を行った日となります。本会でご用意しております理学療法士賠償責任保険は加入できません。退会後に再度ご入会される場合は新人教育プログラムや生涯学習基礎プログラムは再履修となります。

マイページのログインID・PWの再発行について

マイページへログインできない場合は、マイページログイン画面下の「ログインできない方はこちら」より、再発行の申請をお願いいたします。

〈参考URL〉 <http://www.japanpt.or.jp/inquiry/faq/mypage/system20002.html> (注) 電話によるID・PWのご照会はありません。



信頼が未来を創る

4月。門出と新しい出会いの季節。

この春、新しい環境で仕事や生活をスタートさせた方も多いことでしょう。

始まるの時に際し、私から皆さんに人生のお守りとして

「信頼」という言葉を贈りたいと思います。

信頼をつくるには

私は、公認会計士という職業で10年前に非営利法人専門の監査法人を立ち上げました。専門分野に特化することで得られる『深い専門知識』と『豊富な経験』を兼ね備えることで、クライアントの期待に応えることができると、固く信じております。それは、クライアントの悩み・不安・難題に誠意をもって寄り添い、きめ細やかな指導・相談の対応を行って問題を解決するには、高次な知識と豊富な対応ケースが必要だからです。つまり、どれだけ問題解決に力を尽くしたか、という真心が「信頼」を生むものだと思っています。

会計監査は、クライアントの財産や経営といった法人専門の監査法人を立ち上げました。専門分野に特化することで得られる『深い専門知識』と『豊富な経験』を兼ね備えることで、クライアントの期待に応えることができると、固く信じております。それは、クライアントの悩み・不安・難題に誠意をもって寄り添い、きめ細やかな指導・相談の対応を行って問題を解決するには、高次な知識と豊富な対応ケースが必要だからです。つまり、どれだけ問題解決に力を尽くしたか、という真心が「信頼」を生むものだと思っています。

JPTA NEWSリニューアルからの新コーナーでは、様々なご職業の方から、理学療法士である会員の皆さまへメッセージをいただきます。
お問い合わせ先：JPTA NEWS担当 news@japanpt.or.jp

公認会計士
における
信頼性とは

信頼は、信用の上をゆく

よく「信用」という言葉を「信頼」と同じようなニュアンスで使われているのを耳にしますが、正確には使われる場面が全く違う言葉です。広辞苑では、信用とは『信じて任用すること』、信頼とは『信じて頼ること』とあります。深く意味を求めると、「信用」は過去の物理的な事に対し評価をする意味合いで使いますが、「信頼」は過去の実績や業績に加え、その人の信条や振る舞いなどの姿勢に対し、未来の行動を期待する意味合いで使う言葉です。



へんとな あつし
辺土名 厚
公認会計士

理学療法士と会計監査

そう言えば、みなさんの仕事と私の仕事は、対象が人間の身体組織か法人組織かの違いはあれ、よく似ていますね。自立回復という未来を築くために、患者さんに寄り添い、医学的リハビリテーションの手当てをする。皆さんには、患者さんから「この先生なら信頼できる。リハビリをがんばっていきなり」さらには、「良くなった!できた!先生ありがとう!」と言われる理学療法士になっていたきたいと思います。皆さんの日々の努力は、患者さんたちへの愛情です。愛情は必ず相手に伝わり信頼を生みます。その信頼が皆さんの素晴らしい未来を創るのです。

Atsushi Hentona

公益法人・一般法人の専門家として会計監査、会計顧問、研修・講演、執筆、監事、各種指導・相談業務などを通して、幅広く公益法人・一般法人に携わる。
清泉監査法人統括代表社員、辺土名公認会計士事務所代表、日本公認会計士協会非営利法人委員会公益専門委員。
公益法人協会発行の著書に、『公益法人会計 はじめの一步』『公益法人・一般法人の会計実務』『公益法人・一般法人のための仕訳ハンドブック』『公益法人・一般法人の税金のしくみ』がある。

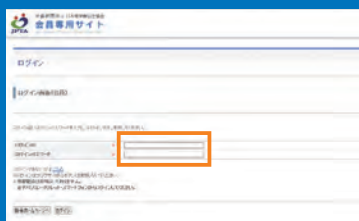
会員の皆様へお願い

2018年度、協会のホームページ【会員の方へ】のコンテンツがマイページ内「会員限定コンテンツ」に一部移行します。ログインID・PWを確認してください。

会員限定コンテンツに アクセスしよう！

<http://www.japanpt.or.jp>

Click!



Click!

各広報媒体(JPTANEWS・FAX通信など)の掲載をはじめ、会員の方のみ閲覧可能な情報を随時更新していきます。ぜひご覧ください。



公益社団法人

日本理学療法士協会

Japanese Physical Therapy Association

